

令和4年3月23日

足立区立千寿本町小学校
学校長 増田 好範 様

足立区立千寿本町小学校
開かれた学校づくり協議会

令和4年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

◎重点的な取組事項1「『基礎学力』の確実な定着と『思考力・判断力・表現力』の向上」について

- コロナ禍の中、先生方の創意工夫や苦悩がよく分かった。いつも本当に感謝している。
- コロナ禍で様々な制限がある生活の中、学校による工夫された教育活動の下、子供たち自身も自分たちなりの楽しみ方を見付けて工夫し「頑張ろう!」という雰囲気を感じる。

◎重点的な取組事項2「豊かな心・健やかな体の育成」について

- コロナ禍が明けそうな来年度は、より多くの行事が再開されることを願っている。千住のお祭りや足立の花火も楽しみである。
- 学校行事をなるべく多く実施していけるよう、PTAとしても協力していきたいと思っている。
- 心身共に子供たちの元気を引き出すことのできる活動が、来年度はたくさん実施できることを願っている。
- コロナ禍によって、声を出す機会が減ったせいか、学芸会などで声の出ない子が散見されたので心配している。
- オリパラ教育の一環として実施されたボッチャ体験（1・2年）・卓球バレー体験（3・4年）・ゴールボール体験（5・6年）で「楽しかったよ。」という子供たちの声が聞かれて、大変嬉しかった。また、子供たちの態度も素晴らしく、感心した。今後も、オリパラ教育のレガシーを大切に、継続できるものは続けていってほしい。
- コロナ禍によって町の中で子供たちが遊べる機会や場が益々失われつつあるので、キッズぱれっとの活動を引き続き大切にしていきたい。

◎重点的な取組事項3「教員の授業力の向上」について

- 先生方のご異動もあるかと思うが、本町小の「つよく・かしこく・あたたかく」の方針を引き続き進められることを願っている。
- 今年度の学校評価アンケート集計結果の自由記述欄には、保護者の方々のそれぞれの思いが述べられていて考えさせられた。特に、子供たちへの注意の仕方や叱り方については、とても難しいことなので、先生方はいつも苦勞されていると思った。

◎重点的な取組事項4「安心して生活できる環境づくりと個別支援教育の充実」について

- 長い長いコロナ禍においても、学校やPTA、地域の方々が子供たちのために、できる限りのことをしてくださっている様子を見て、感謝している。
- コロナウイルスに対して、やっと世の中が落ち着いてきた感じがする。来年度は、地域の様々な行事や活動が復活すると思うので、子供たちには、積極的に参加して地域の絆や連帯を結ぶような声かけ・指導をお願いしたい。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 学校（先生方）はいつも子供たちのためによくやってくれていると感謝しているので、特に意見などもない。
- 千寿本町小学校安全マップ（裏面：こどもを守ろう110番マップ）について、「漢字にルビがなくて読めない子供がいるのでは。」「吹き出しが多過ぎて分かりにくい。」「過去に交通事故があった場所は強調してほしい。」という声を聞いたので、検討した方がいいように思った。
- 12月のPTA主催のきもだめしは実施することができて良かった。
- 登下校時や公園等で遊ぶ際の子供たちを、地域として今後もしっかり見守っていきたい。
- 働き方改革やコロナ禍の対応等、様々諸事情があるかもしれないが、それでも、地域行事に学校の先生方が参加されると子供たちや地域は喜ぶので、5月以降、規制が緩和されたら依然と同様に地域の行事にも参加していただけると嬉しい。